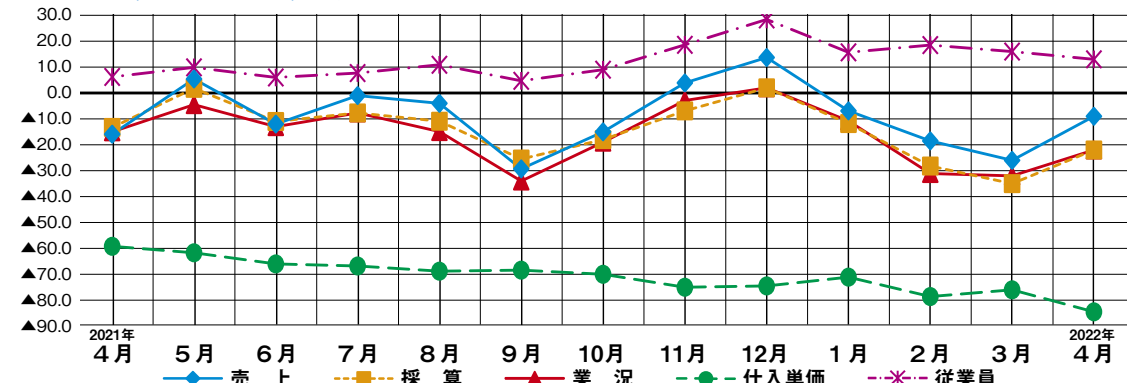


原油高、値上がり、品薄状態、依然として解決せず
ロシアのウクライナ侵攻も深刻さに拍車をかける

【4月の概要】

業況判断を示すDI値は、売上、採算、業況において2ケタ台で改善し、先行き見通しの業況DIで9.0ポイント回復したものの、仕入単価DIは悪化傾向。DI値は全体的にマイナス水準で推移しており、力強さに欠ける状況が続いている。寄せられたコメントでは、引き続き新型コロナの影響で人の動きが鈍いうえに、原材料や資機材不足・値上がり、原油高等を指摘する声が多く出ており、ロシアのウクライナ侵攻の影響が深刻さに拍車をかけている。新年度に入ったものの、暫くは深刻な局面が続くものと予想される。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (2021年4月~2022年4月)



	全産業平均DI値					向こう3か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
2月	▲18.5	▲28.2	▲31.1	▲78.6	18.5	▲3.9	▲13.6	▲9.7	▲57.3	14.6
3月	▲26.0	▲35.0	▲32.0	▲76.0	16.0	▲7.0	▲17.0	▲24.0	▲60.0	20.0
4月	▲9.0	▲22.0	▲22.0	▲84.5	13.0	▲5.0	▲16.0	▲15.0	▲71.0	16.0

建設業	資材不足の中で機械類の中古再生品の問合せが数件来ている。(管工事) 一部資機材の調達に困難なことに加え、円安・原油高を反映し建設資材の高騰が続いている。(ゼネコン)
製造業	急激な鋼材の値上がりが続き、受注済みの物件に価格転嫁できず採算が悪化している。(鋼材) 小学校等での感染拡大で、社員(保護者)の休業が多く、人手不足状態に陥っている。(菓子)
卸売業	仕入価格が大幅に上昇している。毎日各方面から値上げのお知らせが届く状況。(建設資材) 水産物は日本勢の買い負けが顕著。原材料高騰、品薄が慢性化している。(水産物)
小売業	未だ半導体不足と中国等の新型コロナ感染の影響で、新車の生産供給不足が続いている。(自動車)
サービス業	ロシアのウクライナ侵攻に伴いエネルギーの高騰、商材・食材の品不足が原価を押し上げている。(飲食) 新型コロナ第7波やロシアのウクライナ侵攻の影響で先行き不安だが、ただただ平常化を待つのみ(タクシー) まん延防止措置が解除されたが、状況は変わらず。夜間の人出は殆どないように見える。(不動産)

システム建築により自由設計、
ローコスト・短工期を実現!

工場・倉庫・HACCP対応食品工場の建築
おまかせください!!

COSMO コスモ建設株式会社
〒950-0983

新潟県新潟市中央区神道寺2-2-25
TEL025-245-7111 FAX025-245-7119
メールアドレス: info@cosmo-k-co.com

コスモ建設(株) で検索



※日鉄物産システム
建築(株)の施工会員
です。

プラン
概算見積
無料